

2010年8月30日

各位

双日株式会社

双日、中国曹妃甸にて環境・インフラ分野で戦略的提携
 ～唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資有限公司と共同でエコシティー構築へ～

双日株式会社は、中国の政府系投資会社である唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資有限公司と、北京より東に約 220 キロメートルに位置する中国河北省唐山市曹妃甸工業区の環境・インフラ整備を包括的に推進する旨の戦略的合作意向書を締結致しました。



【曹妃甸工業区周辺図】

曹妃甸工業区は、開発が進む環渤海湾エリアの中央に位置し、中国で国家級循環経済モデル都市に認定され、ゼロエミッションを標榜したエコシティーとして中国の新興工業地区の中で最も期待されている工業区です。本工業区の面積は約 310 平方メートルで、この広大な場所に環境配慮型工業都市を建設中です。また、同工業区は、中国北部から中国内陸部およびモンゴル・中央アジア、そして、日本や韓国など太平洋側の国々へと結び、各種エネルギーや鉱物資源などの物流の基点としても重要な位置を占めます。計画では、同工業区への総投資額が 5 兆元（約 65 兆円、1 元=13 円にて換算）になる巨大プロジェクトです。

今回合意した事業の範囲は、

- 1) 汚泥処理を含む廃棄物処理/リサイクルおよび関連発電事業
- 2) 水処理関連事業（海水淡水化、排水高度処理、水リサイクル）
- 3) スマートグリッド
- 4) 電気自動車、交通システム関連
- 5) 新エネルギー、省エネ関連
- 6) 新素材、新技術、設備製造事業

です。これらの各事業分野において、主に日本の最先端技術を用いてエコシティーの構築を進めます。

唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資有限公司は、唐山市曹妃甸工業区におけるインフラ投資を一手に管理する政府系投資会社で、エコシティー計画における中心的な位置を占めています。同会社は既に 600 億元（約 7800 億円）を超える投資を実施しており、今後 20 年にわたり継続的に環境・インフラ投資を実行する予定です。

双日は、2008 年に外資系企業として初めて曹妃甸工業区に進出、排水管用パイプの製造・販売を手がける唐山曹妃甸双星複合管道有限公司を設立し、唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資有限公司から 5%の出資を受け、共同でインフラ整備に携わっています。また、その他、曹妃甸工業区において日本の要素技術を用いた排水リサイクル事業に取り組んでおり、既にエコシティーの構築に向けて計画を推進しています。双日は、このような環境配慮型の工業都市開発、および、それに伴うインフラ事業を推進するために、2010 年 4 月 1 日付けで機械部門内に環境・インフラプロジェクト本部を設置しました。

今後、双日と唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資有限公司は、それぞれの案件について共同で推進チームを発足、事業化に向けた取り組みを進め、事業投資を実行していきます。

以上



<参考資料>

■ 唐山唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資会社の概要

- 企業名 : 唐山曹妃甸基礎インフラ建設投資有限公司
(Tangshan Caofeidian Infrastructure Construction Investment Company)
- 親組織 : 唐山市曹妃甸工業区財政局国有資産管理弁公室分局
- 本社 : 本社所在地 : 中国河北省唐山市
- 総経理 : 劉東
- 設立 : 2007年7月
- 資本金 : 約470億円

■ 河北省唐山市曹妃甸の概要

曹妃甸は、河北省唐山市南部の沿海地域に位置する曹妃甸工業区、曹妃甸新城、南堡経済開発区と唐海県から構成され、計画面積は1943平方メートルに及びます。その中心となる曹妃甸工業区は、計画面積310平方メートルで、首都鋼鉄を中心とした鉄鋼業の他、付近で採掘した原油や天然ガスを原料とする石油化学や石炭化学、ハイテク産業、電力、環境・エネルギー関連、また30万トン級埠頭を中心とした物流業を主力産業として発展する計画です。また、併設する曹妃甸新城は、計画面積150平方メートルで、2020年までに80万人規模の都市開発を計画しております。



【曹妃甸工業区エコシティー完成予想図】

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-2299